

## 11. 講 義 概 要

• にほんご かもく  
日本語科目

• にほんじじょう かもく  
日本事情科目

• き ぞきょういく かもく  
基礎教育科目

• とくべつえんしゅう かもく  
特別演習科目



<p>にほんご ぶんけい ぶんぽう 日本語 A (文型・文法)</p>
<p>こうぎ もくてき こうぎ ないよう 講義目的・講義内容</p> <p>初級後半、または初級の学習を終えた学生を対象に、初級文法の復習と定着、また、中級文法への橋渡しをすることを目的とする。日本で生活するうえでは、語彙や文型を覚えて理解するだけでなく、対人関係や場面に応じてそれらを使い分け、適切にコミュニケーションを図れることが重要となる。大学進学を視野に入れ、できるだけ多くの文を産出し、使える日本語を身につけることを目指す。</p>
<p>どうたつ もくひょう 到達目標</p> <p>自分の考えや意見を、場面や状況に合わせて日本語能力試験のN4またはN3レベルの語彙・文型を選択し、自然な日本語で表現できることを目標とする。予習、復習を義務付ける。</p>
<p>じゅぎょう けいかく 授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①アルバイトを探す、②新しい友達と話す場面での文型表現の学習</li> <li>①上手に買い物する、②一緒に食事する場面での文型表現の学習</li> <li>①これからの計画を話す、②夢について話す場面での文型表現の学習</li> <li>①生活を楽しむ、②行き方を教える場面での文型表現の学習</li> <li>①困った、②駅での場面で話す文型表現の学習</li> <li>①旅行の計画をする、②旅行の準備をする場面での文型表現の学習</li> <li>①初めて訪問する、②一緒に料理を作る場面での文型表現の学習</li> <li>①うれしい出来事、②お世話になったことについて話す場面での文型表現の学習</li> <li>①アルバイト先のルールを話す、②新しいアルバイトを始める場面での文型表現の学習</li> <li>①ハプニング、②ガイドブックを片手に話す場面での文型表現の学習</li> <li>①慣れてくること、②スポーツチームに入って話す場面での文型表現の学習</li> <li>①体調不良、②健康について話す場面での文型表現の学習</li> <li>①町で見た子ども、②思い出すことについて話す場面での文型表現の学習</li> <li>①私の国の行事、②贈り物の習慣について話す場面での文型表現の学習</li> <li>①発表の準備、②みんなの前で発表する場面での文型表現の学習</li> </ol>
<p>りしゅう じょうけん ちゅうい じこう 履修の条件・注意事項</p> <p>毎日の予習、復習を義務付ける。また、遅刻、欠席をしないこと。</p>
<p>せいせきひょうか かしじゆん ほうほう 成績評価基準・方法</p> <p>定期テスト、小テスト、宿題、クラスパフォーマンスから総合評価する。</p>
<p>テキスト</p> <p>『できる日本語 初級 本冊』『できる日本語 わたしの文法ノート 初級』</p>

※変更があった場合は、別途指示する。

にほんご こうとうひょうげん  
日本語 A (口頭表現)

こうぎもくてき こうぎないよう  
講義目的・講義内容

自分が日本語で伝えたいことを相手が理解できるようにするためには、発音を明確にする必要がある(発信)。また相手が日本語で伝えたいことを正確に理解するためには、相手の言葉のある程度メモする技術が必要である(受信)。会話を展開させるためには、自分が伝えたことに対して相手からどんな反応があり、さらにその反応に対して何を伝えるかを考え、あるいは自分が受けた内容を第三者に正確かつ要約して伝えることで会話の意味が成立する。そのために、最初の段階では、発音・発声練習とディクテーション等を重視した訓練を行う。

とうたつもくひょう  
到達目標

自分の言おうとすることを、相手に50%以上理解させることができる。  
相手が言おうとすることに対して、自分が50%以上理解することができる。  
誰とであっても、日本語で会話することを楽しめることを目標とする。

じゅぎょうけいかく  
授業計画

1. 自己紹介/インタビューゲーム
2. トレーニング①/発音練習、伝言、ディクテーション
3. トレーニング②/音読練習、詩の朗読練習
4. 小テスト「暗唱テスト」
5. トレーニング③/前回のテスト F.B.
6. トレーニング④/スピーチ①
7. トレーニング⑤/スピーチ②
8. 「スピーチテスト」
9. トレーニング⑥/ロールプレイ①
10. トレーニング⑦/ロールプレイ②
11. 小テスト「ロールプレイテスト」
12. トレーニング⑧/インタビュー①
13. トレーニング⑨/インタビュー②
14. トレーニング⑩/インタビュー③
15. 「インタビューテスト」

りしゅう じょうけん ちゅうい じこう  
履修の条件・注意事項

毎回のトレーニングへの参加度、授業で配布されたプリントの提出を義務付ける。また、遅刻、欠席をしないこと。特にテストの日は欠席してはいけません。

せいせきひょうか きじゅん ほうほう  
成績評価基準・方法

定期試験 40% 小テスト 30% 提出物 20% 授業態度 10%

テキスト

なし (適宜ワークシートなど配付)

※変更があった場合は、別途指示する。

にほんご ぶんしょうひょうげん  
日本語 A (文章表現)

こうぎ もくてき こうぎ ないよう  
講義目的・講義内容

まな ぶんぼう ひょうげん  
学んだ文法やことば、表現などをつなぎ合わせるだけでは、ぶんしょう じぶん かんが かく ことができ  
るようにはならない。文章の種類、読み手や状況、目的に合わせて、適切な文章が書けるように、  
みぢか じょうきょうせつてい はじ じよじよ しゃかいてき じよきょう せつてい か れんしゅう  
身近な状況設定から始めて、徐々に社会的な状況を設定して書く練習をする。また、書いた成果  
ぶつ ほんびょう じかん もろ  
物を発表する時間を設ける。

とうたつ もくひょう  
到達目標

かく もくてき あ てきせつ ぶんしょう  
書く目的に合わせ、適切な文章を 400～600 字程度で書けるようになること。

じゅぎょうけいかく  
授業計画

1. 授業の説明、自己紹介
2. 一日のスケジュール
3. 私の部屋
4. あなたの国から日本へ持って来たら、人気が出るもの
5. 発表①
6. 悩み相談
7. 私の国・町
8. 日本の観光地
9. あなたの好きな日本文化
10. 発表②
11. 外国人には難しい日本の生活習慣
12. あなたの国の社会問題
13. 発表③
14. 日本の社会問題
15. 発表④

りしゅう じょうけん ちゅうい じこう  
履修の条件・注意事項

こうぎ か せい かぶつ ほんびょう  
講義では、書くだけでなく書いた成果物の発表もする。予習、復習を義務付ける。

せいせきひょうか きじゅん ほうほう  
成績評価基準・方法

せい かぶつ ていしほつ ていき ほんびょう  
成果物の提出、定期テスト、発表、クラスパフォーマンスから総合評価する。

テキスト

なし (適宜ワークシートなど配付)

日本語 A (読解)

講義目的・講義内容

読解学習の役割は、情報を選別する、予測や推測をする、聞きとったことに反応するなどのストラテジーを磨くこと、そして、読むことでインプットを得て言語を習得していくことである。したがって、本講義ではこれらのストラテジーを磨くために、さまざまなタイプのテキストを読む。また、言語学習のために、読みとったことを応用してさまざまな活動を行う。

到達目標

身近な話題について、学習した知識を応用しながら柔軟に読みとる力を養う。

授業計画

1. 授業の説明、日本で暮らす 1・2、日本を知る 1
2. 日本で暮らす 3、日本を知る 2
3. 日本で暮らす 4・5、日本を知る 3
4. 日本で暮らす 6、日本を知る 4
5. 日本で暮らす 7、日本を知る 5
6. 日本で暮らす 8、日本を知る 6
7. 日本で暮らす 9、日本を知る 7
8. 日本で暮らす 10、日本を知る 8
9. 復習、日本語能力試験 N 5 レベルの練習
10. 日本で暮らす 11、日本を知る 9
11. 日本で暮らす 12、日本を知る 10
12. 日本で暮らす 13、日本を知る 11
13. 日本を知る 12、日本を知る 13
14. 日本を知る 14
15. 復習、日本語能力試験 N 4 レベルの練習

履修の条件・注意事項

毎日の予習、復習を義務付ける。

成績評価基準・方法

定期テスト、小テスト、宿題、クラスパフォーマンスから総合評価する。

テキスト

『できる日本語準拠 たのしい読みもの 55』、適宜プリント配付

※変更があった場合は、別途指示する。

にほんご ちょうかい  
日本語 A (聴解)

こうぎ もくてき こうぎ ないよう  
講義目的・講義内容

ちょうかいがくしゅう やくわり じょうほう せんべつ よそく すいそく き  
聴解学習の役割は、情報を選別する、予測や推測をする、聞きとったことに反応するなどのストラ  
ラテジーを磨くこと、そして、聞くことでインプットを得て言語を習得していくことであろう。し  
たがって、ほんごうぎ では、これらのストラテジーを磨くために、さまざまなタイプのテキストを聞く。  
また、げんご がくしゅう のために、聞きとったことを応用してさまざまな活動を行う。

どうたつもくひょう  
到達目標

みぢか わだい がくしゅう ちしき おうよう じゅうなん き ちから やしな  
身近な話題について、学習した知識を応用しながら柔軟に聞きとる力を養う。

じゅぎょうけいかく  
授業計画

1. 授業の説明、第1課 (この女の人はだれですか)
2. 第2課 (これは一ついくらですか)、第3課 (300円のを2キロください)
3. 第4課 (来週の木曜日はわたしの誕生日です)、第5課 (ポストはどこですか)
4. 第6課 (12時にマリアさんのアパートへ行きます)
5. 第7課 (きれいですね)、第8課 (きのう、何をしましたか)
6. 第9課 (だれに机をもらいましたか)
7. 第10課 (何をしに行きますか)、第11課 (この旅館は建物が古いです)
8. 第12課 (缶コーヒーは甘いですから、あまり飲みたくないです)
9. 第13課 (新宿はどんな町でしたか)、第14課 (日本とタイではどちらが大きいですか)
10. 第15課 (タンさんは何をしていますか)
11. 第16課 (写真をとってもいいですか)、第17課 (みんな来ています)
12. 第18課 (これはかぜ薬で、それはおなかの薬です)
13. 第19課 (ラーメンを10ぱい食べることができます)、第20課 (銀行へ行かなければなりません)
14. 第21課 (スキーをしたことがありますか)
15. 第22課 (どこかへ行った?)、第23課 (地震のとき、怖かったです)

りしゅう じょうけん ちゅうい じこう  
履修の条件・注意事項

よしゅう ふくしゅう ぎむづ  
予習、復習を義務付ける。

せいせきひょうか きじゅん ほうほう  
成績評価基準・方法

ていき しょくだい そうごうひょうか  
定期テスト、小テスト、宿題、クラスパフォーマンスから総合評価する。

テキスト

しよきゅう にほんご ちょうかいれんしゅう まいにち き にちじょう  
『初級日本語聴解練習 毎日の聞きとり50日上』

へんこう ばあい べつとじし  
※変更があった場合は、別途指示する。

にほんご そうごうえんしゅう  
日本語 A (総合演習)

こうぎもくてき こうぎないよう  
講義目的・講義内容

にほんごのうりよくしけん かんじ よ か ちゅうしん れんしゅう うんようりよく やしな ぶんみやく  
日本語能力試験 N4 レベルの漢字の読み書きを中心に練習する。運用力を養うために、文脈に  
あ 合わせて適切な漢字語彙を選んで産出する練習も行う。また、漢字語彙にとどまらず、N4 レベル  
の文型や表現の理解・産出練習も行う。

とうたつもくひょう  
到達目標

きそてき かんじ じ よ か にほんごのうりよくしけん  
基礎的な漢字約 300 字の読み書きができるようになるとともに、日本語能力試験 N4 レベルの語  
彙や文型の運用力を身につけること。

じゅぎょうけいかく  
授業計画

1. 授業の説明、漢字①、日本語能力試験 N4 レベルの練習①
2. 漢字②、日本語能力試験 N4 レベルの練習②
3. 漢字③、日本語能力試験 N4 レベルの練習③
4. 漢字④、日本語能力試験 N4 レベルの練習④
5. 漢字⑤、日本語能力試験 N4 レベルの練習⑤
6. 漢字⑥、日本語能力試験 N4 レベルの練習⑥
7. 漢字⑦、日本語能力試験 N4 レベルの練習⑦
8. 漢字⑧、日本語能力試験 N4 レベルの練習⑧
9. 漢字⑨、日本語能力試験 N4 レベルの練習⑨
10. 漢字⑩、日本語能力試験 N4 レベルの練習⑩
11. 漢字⑪、日本語能力試験 N4 レベルの練習⑪
12. 漢字⑫、日本語能力試験 N4 レベルの練習⑫
13. 漢字⑬、日本語能力試験 N4 レベルの練習⑬
14. 漢字⑭、日本語能力試験 N4 レベルの練習⑭
15. 漢字⑮、日本語能力試験 N4 レベルの練習⑮

りしゅう じょうけん ちゅうい じこう  
履修の条件・注意事項

かくかい こうぎ まな こい いみ よしゅう しら ぜんてい こうぎ すず  
各回の講義で学ぶ語彙の意味は予習として調べてくることを前提にして講義を進める。

せいせきひょうか きじゅん ほうほう  
成績評価基準・方法

ていき しゅう しゅくだい そうごうひょうか  
定期テスト、小テスト、宿題、クラスパフォーマンスから総合評価する。

テキスト

しんそうばん にち ぶん かん じ れんしゅう しょきゅう しょちゅうきゅう じょう  
「新装版 1日15分の漢字練習 初級～初中級上」

※変更があった場合は、別途指示する。

日本語 B (文型・文法)

講義目的・講義内容

初級の学習を終えた学生を対象に、初級文法の復習と定着、また中級文法への橋渡しを目的とする。今後日本で生活するうえでは、語彙や文型を覚えて理解するだけでなく、対人関係や場面に応じてそれらを使い分け、適切にコミュニケーションを図れることが重要となる。また大学進学を視野に入れ、できるだけ多くの文章に目を通して、日本の文化や日本人の考え方を学ぶことも目指す。

到達目標

自分の考えや意見を、場面や状況に合わせて自然な日本語で表現できることを目標とする。また日本語能力試験のN3レベルの文法や文章が理解できることを目標とする。

授業計画

1. ファストフード 「中級へ行こう」より
2. 最近の子ども
3. 睡眠
4. リサイクルとフリーマーケット
5. 男の仕事・女の仕事
6. 音楽と音の効果 「中級を学ぼう 中級前期」より
7. 「面白い」日本
8. 私の町
9. お相撲さんの世界
10. 色 「中級を学ぼう 中級中期」より
11. 制服
12. 遊びと運動
13. 水
14. 漫画・アニメ・本
15. ヒトと動物

履修の条件・注意事項

毎日の予習、復習を義務付ける。宿題の提出も評価の対象になる。  
また、遅刻、欠席をしないこと。

成績評価基準・方法

定期試験 50%、小テスト 20% ワークシート提出率 20%、授業態度 10%

テキスト

- 『中級へ行こう 日本語の文型と表現 55』  
『中級を学ぼう 日本語の文型と表現 56 中級前期』  
『中級を学ぼう 日本語の文型と表現 82 中級中期』

※変更があった場合は、別途指示する。

日本語 B (口頭表現)

講義目的・講義内容

ペアワークやグループワークなどの活動を通して、クラスメイト誰とも日本語で話し合える関係性を築くこと(クラスコミュニティの形成)から始め、意見の違う相手とディスカッションして相手の意見を聞き、反論して説得したり、物や視覚的な資料を用意して、それを相手にわかりやすくプレゼンテーションする力を身につける。そして最終段階では、インタビュープロジェクトを通して、日本人にインタビューし、それをまとめてプレゼンテーションが上手にできるようになることを目的とする。

到達目標

親疎、国籍関係なく日本語で話し合ったり、人の話を聞いてそれに意見したり、あいづちやメモを取るなどインタビュースキルを身につけることを目標とする。

授業計画

1. 自己紹介/インタビューゲーム
2. 単語説明ゲーム
3. ペア・グループインタビュー①
4. ペア・グループインタビュー②
5. ディスカッション①
6. ディスカッション②
7. ディベート①
8. ディベート②
9. ディスカッション③
10. プレゼンテーション①
11. プレゼンテーション②
12. プレゼンテーション③
13. インタビュースキル①
14. インタビュースキル②
15. スピーチ

履修の条件・注意事項

毎回の授業で記入するFBシートの提出を義務付ける。また、遅刻、欠席をしないこと。

成績評価基準・方法

定期試験 50%、FBシート提出 30%、授業態度 20%

テキスト

なし(適宜ワークシートなど配付)

※変更があった場合は、別途指示する。

にほんご ぶんしょうひょうげん  
日本語 B (文章表現)

こうぎもくてき こうぎないよう  
講義目的・講義内容

自分の書きたい内容や意見、考えをまとめて全体のアウトラインを作成するところから指導する。そして読み手を常に意識し、接続詞を使用したり段落を作ったりして文章を組み立てていくことで、論理的、かつわかりやすい作文が書けるようになることを目的とする。また、クラスメイトと一緒に作文を読んで指摘し合うピア活動を取り入れ、他人の書いた文を理解し修正する力と、自身の作文を推敲する習慣を身につけられるようにする。

どうたつもくひょう  
到達目標

自分の意見や考えを、全体の構成や段落を意識しながら日本語の文章 600 字～800 字程度でまとめることができるようになることを目標とする。

じゅぎょうけいかく  
授業計画

1. 原稿用紙の使い方、視写
2. 自分自身とその周りを表す表現
3. 時系列、順序を表す表現
4. 対人関係を表す表現
5. 理由・根拠を表す表現① 意見文
6. 理由・根拠を表す表現② 意見文
7. 時間内に書く① 意見文
8. 時間内に書く② 意見文
9. 時間内に書く③ 意見文
10. 定義、分類、列挙① (身近なものを説明する)
11. 定義、分類、列挙② (自分の国のものを説明する)
12. 説明文① (比較、対比)
13. 説明文② (グラフ)
14. 説明文③ (日本と母国を比較する)
15. まとめ、ふりかえり

りしゅう じょうけん ちゅうい じこう  
履修の条件・注意事項

毎回の作文提出を義務付ける。また、遅刻、欠席をしないこと。

せいせきひょうか きじゆん ほうほう  
成績評価基準・方法

定期試験 40%、毎回の作文・清書提出 50% 授業態度 10%

テキスト

なし (授業内で適宜プリントを配付する)

※変更があった場合は、別途指示する。

日本語 B (読解)

講義目的・講義内容

前後の文脈から未習単語を推測し、段落や接続詞、述部表現などから文章の構成をつかんで内容を理解できるようになることを目的とする。また、ふりがななしで本文を音読できるように練習する。最後に、読んだものに対して口頭で簡単な説明、意見が言えるよう指導していく。テキスト以外にも、留学試験や能力試験の過去問題や新聞、雑誌、文書、漫画などを扱い、様々なタイプの読み物が読めるようにする。

到達目標

500字以上書かれている読み物を初見で読んでもある程度理解し、まとめ、それに対して意見が述べられるようになることを目標とする。

授業計画

1. 大豆と日本人
2. ミツバチ
3. ノーテレビデーへの試み
4. 京都旅行
5. 日本のペット事情
6. ノーベル賞
7. 会社説明会
8. ていねいな日本語?
9. カタカナ語
10. 校則
11. 春は嫌われもの?
12. 投票率
13. インターネット利用の問題
14. 宮崎駿の世界
15. 「話を聞かない男、地図が読めない女」を読んで

履修の条件・注意事項

毎回の予習、復習、ワークシート提出を義務付ける。また、遅刻、欠席をしないこと。

成績評価基準・方法

定期試験 50%、ワークシート提出率 30%、授業態度 20%

テキスト

日本語教育研究所 編著 『読解をはじめのあなたへ』 凡人社  
和栗雅子 他 著 『読むトレーニング 基礎編 日本留学試験対応』

※変更があった場合は、別途指示する。

にほんご ちょうかい  
日本語 B (聴解)

こうぎ もくてき こうぎ ないよう  
講義目的・講義内容

授業で扱う課のCDを聞き、キーワードを聞き取ってメモ書きし、わからない単語を飛ばして全体の内容を推測する力を養う。2回目、3回目以降はわからない単語を即座に辞書で調べ、設問を聞いて必要な情報を意識して聞く力を身につける。また、最後に聞き取った話の構成、要点を絞り、大意を要約して口頭、文章で表現できるようになることを目的とする。

とうたつもくひょう  
到達目標

ディクテーション、スキミング、スキヤニング、ノートテイキング、要約ができるようになることを目標とする。

じゅぎょうけいかく  
授業計画

1. 授業の進め方 第1課「もしもし」 第2課「旗のデザイン」
2. 第3課「海からの便り」 第4課「カラスのカー子ちゃん」
3. 第5課「たためるピアノ」 第6課「日本人と果物」
4. 第7課「待つ時間・待たせる時間」 第8課「震度3」
5. 第9課「世界の人口」 第10課「牛丼の作り方」
6. 第11課「ドライアイ」 第12課「日本の地方都市」
7. 第13課「横断歩道」 第14課「弁当の日」
8. 中間テストフィードバック
9. 第15課「コンビニ図書館」 第16課「右回りの時計」
10. 第17課「目にやさしい色」 第18課「上手に泣いてストレス解消」
11. 第19課「阿波踊り」 第20課「富士山の見えるところ」
12. 第21課「アニメ文化の輸出」 第22課「十二支の話」
13. 第23課「東京を回る山手線」 第24課「どんな結婚披露宴がいい」
14. 第25課「通話をやめた若者」
15. 期末試験前復習

りしゅう じょうけん ちゅうい じこう  
履修の条件・注意事項

毎回の復習、ワークシート提出を義務付ける。  
特に自宅で音声聞く課題があり、その提出状況も評価の対象になる。  
また「聞くこと」中心の授業なので授業中の居眠りなどは厳しく対処する。

せいせきひょうか きちん ほうほう  
成績評価基準・方法

定期試験 50%、ワークシート・課題提出率 30%、授業態度 20%

テキスト

みやぎ さちえ ほかちよ ちゅうきゅう しんまいにち き にち じょう ほんじんしゃ  
宮城幸枝他著 『中級 新毎日の聞きとり 50日 上』 凡人社

※変更があった場合は、別途指示する。

日本語 B (総合演習)

講義目的・講義内容

初中級レベルの学生を対象に、日本語能力試験のN5～N3レベルで必要と思われる基礎的な漢字の読み方、書き方を習得し、定着を図ることを目的とする。また、一つの漢字から派生する語彙を扱うことによって語彙を増やし、文中で語彙を使うことができるように指導する。毎回ワークシートで漢字の書き方をチェックし、小テストや復習テストを行うことで繰り返し漢字を書いて、覚えることができるようにする。

到達目標

初中級レベルの漢字の読み・書きができるだけでなく、語彙を増やし、その語彙を文レベルで使えるようになることを目標とする。

授業計画

1. 授業の説明、漢字①、日本語能力試験 N4 レベルの練習①
2. 漢字②、日本語能力試験 N4 レベルの練習②
3. 漢字③、日本語能力試験 N4 レベルの練習③
4. 漢字④、日本語能力試験 N4 レベルの練習④
5. 漢字⑤、日本語能力試験 N4 レベルの練習⑤
6. 漢字⑥、日本語能力試験 N3 レベルの練習①
7. 漢字⑦、日本語能力試験 N3 レベルの練習②
8. 漢字⑧、日本語能力試験 N3 レベルの練習③
9. 漢字⑨、日本語能力試験 N3 レベルの練習④
10. 漢字⑩、日本語能力試験 N3 レベルの練習⑤
11. 漢字⑪、日本語能力試験 N3 レベルの練習⑥
12. 漢字⑫、日本語能力試験 N3 レベルの練習⑦
13. 漢字⑬、日本語能力試験 N3 レベルの練習⑧
14. 漢字⑭、日本語能力試験 N3 レベルの練習⑨
15. 漢字⑮、日本語能力試験 N3 レベルの練習⑩

履修の条件・注意事項

毎回の予習、復習を義務付ける。また、遅刻、欠席をしないこと。

成績評価基準・方法

定期試験 50%、小テスト 20%、予習・宿題 20%、授業態度 10%

テキスト

『1日15分の漢字練習 初級～初中級下』、適宜プリント配付

※変更があった場合は、別途指示する。

日本語 C (文型・文法)

講義目的・講義内容

日常的に体験する出来事や話題について、自分の意見を理由とともに説明できるようになることを目指す。そのため、異なる視点や考え方をもつ相手とも、興味関心を持って適切な表現で情報や意見の交換ができ、中級レベル以上の語彙、文型を理解、運用しながら、アウトプットができるようにする。

到達目標

大学などの高等教育機関で教育を受けるのに必要な日本語、その中でも、特にこの授業では社会的な場面で必要とされる表現方法を身につけることを目標とする。ただし、この場合の身につけるとは、聞いたり読んだりして理解する、自身の考えを口頭や文章で表現することを指す。したがって、社会的な場面で必要とされる総合的な日本語が理解・表現できることを目標にする。

授業計画

- 第1課 なぜその言葉？
- 第2課 ユニバーサルデザインとは？
- 第3課 公共施設を利用している？
- 第4課 違う自分になりたい？
- 第5課 災害に対して準備している？
- 第6課 地球の環境、大丈夫？
- 第7課 なぜそう見える？ どう見せる

プロジェクトワーク

履修の条件・注意事項

毎日の復習を義務付ける。また、遅刻、欠席をしないこと。

成績評価基準・方法

定期試験 40%、復習テスト 35%、ワークシート提出率 15%、クラスパフォーマンス 10%

テキスト

「タスクベースで学ぶ日本語 中級2」

Task-Based Learning Japanese for College Students

※変更があった場合は、別途指示する。

日本語 C (口頭表現)

講義目的・講義内容

大学で行われるゼミ活動や日本人との交流を考え、ペアワークやグループワークなどの活動を通して傾聴・メモスキルと初対面や年長者に対する敬語表現および友人間でのおしゃべりなど、誰でも日本語で話し合えるように経験を積み、意見の違う相手とディスカッションして相手の意見に反論・説得スキルを身につけ、相手にわかりやすく伝えるためには何が必要かを意識したプレゼンテーションスキルを学ぶ。

到達目標

大学で日本人と交流し、かつ授業で発言やプレゼンテーションができることを目標とする。

授業計画

1. 経歴や長所などを説明するために必要な表現を学ぶ
2. 「時・経緯」「列挙」「目的」「希望・意思」「能力」順序だてて自己アピールをする
3. アンケートでよく使われる表現を練習し、質問の意味を理解して簡潔な回答ができるようにする
4. 実際にアンケートを作成して、日本人や周りの人の考えを調査する
5. 中間試験①
6. 友だちやクラスで出かける計画を考える①【出かけた場所を説明する】
7. 友だちやクラスで出かける計画を考える②【その日の予定を説明する】
8. 中間試験②
9. 1つのトピックを詳しく説明する練習①
10. 1つのトピックを詳しく説明する練習②
11. 日本で「体験した」ことを発表する
12. 環境問題について調べて発表する①
13. 環境問題について調べて発表する②
14. 環境問題について調べて発表する③
15. 学期末試験

履修の条件・注意事項

積極的に参加すること。仲間の発表をよく聞くこと、また、遅刻や欠席をしないこと。

成績評価基準・方法

プレゼンテーション 50%、自分で作成した成果物 (スライドなど) 40%、クラスパフォーマンス 10%

テキスト

『大学で学ぶための日本語ライティング 中・上級者用日本語テキスト 短文からレポート作成まで』

The Japan Times

※変更があった場合は、別途指示する。

にほんご ぶんしやうひやうげん  
日本語 C (文章表現)

こうぎ もくてき こうぎ ないよう  
講義目的・講義内容

大学や大学院で必要とされるレポート作成指導を中心とする。主に説明文と意見文の違いを明確にし、段落構成を意識づける。特に説明文では事実や現象、グラフや図表などを客観的な視点で説明することを、また意見文ではその説明による論拠を元に主張を展開するスキルを身につけることを目的とする。またクラスメイトの作文に目を通しながら、誤用や論理展開などを批評しあう環境を作ることも大学等でのゼミ活動に必要な指導と考える。

とうたつもくひやう  
到達目標

1000字以上の論文を、読み手を意識しながら論理的に構成展開し書きまとめることを目標とする。

じゆぎやうけいかく  
授業計画

1. 授業の進め方、原稿用紙の使い方、【自分をアピールする文を書く①】
2. 進学のための自己紹介【自分をアピールする文を書く②】
3. EJU 記述対策①
4. EJU 記述対策②
5. EJU 記述対策③
6. EJU 記述対策④
7. アンケート【簡潔に回答する】
8. クラスで出かける計画【情報を文章にする】
9. 街で感じたこと【状況を説明し、意見を述べる】
10. インターネットショッピング【段落を作る】
11. 体験したことを報告する文を書く【見学の報告】
12. 環境を考えた生活【テーマに沿った意見文を書く】
13. バイオマス【順序だてて、レポートを書く】
14. 日本の少子化問題【引用して、レポートを書く】
15. 就職しない若者【資料を利用して、レポートを書く】

りしやう じやうげん ちやうい じこう  
履修の条件・注意事項

毎回の作文提出を義務付ける。また、遅刻、欠席をしないこと。

※ EJU [Examination for Japanese University Admission for International Students]

せいせきひやう か きじゆん ほうほう  
成績評価基準・方法

定期試験 40%、毎回の作文・リライト提出 50%、授業態度 10%

テキスト

『大学で学ぶための日本語ライティング 中・上級者用日本語テキスト 短文からレポート作成まで』

The Japan Times

※変更があった場合は、別途指示する。

日本語 C (読解)

講義目的・講義内容

論理的なつながり、展開のパターンなどに注目しながら学習者のために書かれた文章、新聞や雑誌のコラムやエッセイ、レポートや論説文などを読むことで、語と語、文と文、段落と段落の論理関係を正確にとらえ、文章の内容や筆者の考え・意図を理解する力を身につけることを目指す。

到達目標

社会的な話題について1000字程度書かれている文章を読んで理解し、大意をまとめたり、詳細な部分を抜き出したり、内容について意見を述べられるようになることを目標とする。

授業計画

1. 授業の進め方/ウォーミングアップ 1、練習問題 1 日目
2. ウォーミングアップ 2、練習問題 2 日目
3. ウォーミングアップ 3、練習問題 3 日目
4. ウォーミングアップ 4、練習問題 4 日目
5. ウォーミングアップ 5、練習問題 5 日目
6. ウォーミングアップ 6、練習問題 6 日目
7. ウォーミングアップ 7、練習問題 7 日目
8. 復習回
9. ウォーミングアップ 8、練習問題 8 日目
10. ウォーミングアップ 9、練習問題 9 日目
11. ウォーミングアップ 10、練習問題 10 日目
12. 練習問題 11.12 日目
13. 練習問題 13.14 日目
14. 練習問題 15.16 日目
15. 復習回

履修の条件・注意事項

テキストは必ず復習すること(文法)  
必須ではないが、ラインマーカーや色ペンを用意するとよい

成績評価基準・方法

定期試験 40%、授業内課題 50%、授業態度 10%

テキスト(前期後期で教材変更あり)

『必ずできる! JLPT「読解」N2』アルク

『45日間で基礎からわかる日本語能力試験対策 N2文法総まとめ』三修社

※変更があった場合は、別途指示する。

日本語 C (聴解)

講義目的・講義内容

主に独話 (モノローグ) を中心に扱い、学習者用にリライトされたニュース、講義内容、社会的な話題などのテキストを聞き、要点を把握したり、細かな部分の数字やキーワードを聞きとったりする練習をする。また、聞きとった内容を簡単にまとめたり、意見を交換したりする応用的な活動も行う。

到達目標

大学の勉学に必要な日本語が聞きとれるようになることを目標とする。講義や口頭発表を聞くだけでなく、概要をつかみ、話の構成を考えるために、ノートをとったり、要約を書いたりする力の養成も目標とする。

授業計画

- 第1課 掃除
- 第2課 本屋
- 第3課 新幹線のおでこ
- 第4課 体験プレゼント
- 第5課 そば屋ののれん
- 第6課 犬の肥満
- 第7課 卵かけご飯
- 第8課 女性専用車両
- 第9課 剣道
- 第10課 落語
- 第11課 そばをすすめる音
- 第12課 将棋
- 第13課 南極
- 第14課 明治神宮の森
- 第15課 虚偽の自白

履修の条件・注意事項

この科目は復習が大切です。今日「耳で聞いた」単語や表現は必ず調べてノートに書きましょう。

成績評価基準・方法

定期試験 50%、宿題提出率 40%、授業態度 10%

テキスト

『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解 [中上級]』スリーエーネットワーク

※変更があった場合は、別途指示する。

日本語 C (総合演習)

講義目的・講義内容

漢字だけではなく外来語、擬態語などのN2レベルの語彙を学び、初見で理解できる語彙量を増やすことを目的とする。読み方はもちろんそこから派生する単語や言葉の背景を学び、習った単語を駆使して書いたり話したりして表現することも目指す。また単語の意味を、日本語で説明できるようにすることで説明する力も養う。

到達目標

N2レベルの単語が80%以上理解できること、また50%程度の表現使用・活用を目指す。

授業計画

1. 生活①【ギフト、料理、引っ越し、雑誌、清掃】
2. 町【交通①、交通②、産業、銀行①、銀行②】
3. 文化【文化①、文化②、ファッション①、様子を表す言葉①、歴史】
4. 健康①【健康、体①、体②、症状、治療】
5. 仕事【ビジネスマン①、労働、採用、営業、人事】
6. 会社【経営、販売、利益、経費、出版】
7. ミステリー【サスペンス①、サスペンス②、サスペンス③、犯罪、犯人】
8. 人間関係【仲間①、仲間②、仲間③、敬語①、敬語②】
9. 災害【気候、災害①、災害②、災害③、ボランティア】
10. 社会①【教育①、教育②、法律①、警察、社会】
11. 生活②【住宅①、住宅②、贈り物、調味料、交通③】
12. 働く【ビジネスマン②、コピー、様子を表す言葉②、様子を表す言葉③、ファッション②】
13. 健康②【健康管理、出産、診察、介護、美容】
14. 動植物【花①、花②、色、ペット、牧畜】
15. 地球【地球、水①、水②、砂浜、地質】

履修の条件・注意事項

毎回の予習、復習を義務付ける。また、遅刻、欠席をしないこと。

成績評価基準・方法

定期試験 50%、小テスト 25%、ワークシート 20%、クラスパフォーマンス 5%

テキスト

『漢字マスター N2 改訂版』三修社

※変更があった場合は、別途指示する。

にほんじじょうかもく  
日本事情科目

<p>にほんじじょう にほんぶんか たんとうしゃまつい 日本事情 I (日本の文化) 担当者：松井 かおり</p>
<p>こうぎもくてき こうぎないよう 講義目的・講義内容 にほんぶんか きょうみ たいけん しら まな 日本文化について興味をもち、体験したり、調べながら学ぶ</p>
<p>とうたつもくひょう 到達目標 にほんどくじ ぶんかてき かつどう せつきよくてき とくく 日本独自の文化的な活動などに積極的に取り組むことができる。 にほんどくじ ぶんか はいけい かんが 日本独自の文化の背景にあるものについて考えることができる。 じぶんくに ぶんか にほんぶんか きょうつうてん そういてん かんが 自分の国の文化と日本の文化との共通点や相違点について考えることができる。</p>
<p>じゅぎょうけいかく 授業計画 1. オリエンテーション (授業の進め方・評価方法) 2. 瞑想とヨガ① 3. 瞑想とヨガ② 4. 他者との協調 コミュニケーション WS 5. 総合オリエンテーション (警察、消防の人から話をきく) 6. // 7. 折り紙アート 折り紙を使って自由に場面を表現しよう 8. 料理① 自分の好きな日本料理のレシピ&amp;ふるさとの料理レシピを作ろう 9. 料理② レシピカードを使って、発表しよう 10. 書道① 毛筆で書いてみたい字を選ぼう、選んだ字で漢字アートをしてみよう 11. 書道② 好きな漢字を毛筆で書いてみよう 12. 習慣 自分の国とは違う日本人の面白い行動を話し合おう 13. アニメ① 日本のアニメを見て、昔と現在の日本の変化を見つけよう 14. アニメ② 日本のアニメを見て、大人もアニメが好きな理由を考えよう 15. 日本文化まとめ</p>
<p>りしゅうじょうけんちゅういじこう 履修の条件・注意事項 けっせき ちごく じしよ けいたいでんわ まいじかん 欠席・遅刻をしない。辞書 (携帯電話のアプリでもよい) をかならず毎時間もってくる。コ ナ感染症拡大のときは、予防のため、遠隔授業になることがある。また授業内容が一部変更になる 場合がある。そのほかの理由で休講になった場合は、教員の指示に従うこと</p>
<p>せいせきひょうか きじゆん ほうほう 成績評価基準・方法 じゅぎょうない ざくりん ていしゅつ じゅぎょう さんかど 授業内プレゼンテーションや作品の提出 60% 授業への参加度 40%</p>
<p>テキスト なし 必要なとき、ハンドアウトを配布する</p>

※変更があった場合は、別途指示する。

日本事情Ⅱ (日本の法律) 担当者：椎名 智彦

講義目的・講義内容

この講義の目的は、以下の通りである。①日本の主な法律について理解すること。②それらの法律が、日本での生活や経済活動とどのように関わっているかについて理解すること。③法律の言葉には難しいものが多いので、それらを留学生に対して分かりやすく説明し、理解してもらうこと。次に、この講義の内容は、以下の通りである。④各回のテーマは、日本の主要な法律やその基本的な考え方である。それらについて、教員がスライドやプリントを用いて解説する。⑤それらテーマについて、学生が簡単なグループワークを行う。⑥最後に、全体でディスカッションを行い、理解を助ける。

到達目標

この講義を通じて、①日本の法制度の基本を理解し、説明できるようになること、②日本での生活の中で、社会的にも法律的にも正しい行動を選択できるようになること、を目標とする。

授業計画

1. イントロダクション：この講義の目的・概要・進め方	Introduction
2. 日本の特徴とは？：社会と法	Law and Society in Japan
3. 普段の生活における法との関わり：日常生活と法	Encountering Law in Daily Life
4. 経済活動と法：民法①（財産法）	Law of Economic Activity
5. 家族と法：民法②（家族法）	Family Law
6. 理解の確認（小テストと解説）：民法	Quiz
7. 自由の保障：憲法①（基本的人権）	Civil Liberties
8. 国家の仕組み：憲法②（統治機構）	Structure of Government
9. 犯罪と法：刑法	Criminal Law
10. 理解の確認（小テストと解説）：憲法・刑法	Quiz
11. 雇用と法 — アルバイトで困ったら：労働法	Labor Law
12. インターネットと法：情報法	the Internet and Law
13. 時事問題：LGBTQ（性的少数者）と法①	Sexual Minorities and Law I
14. 時事問題：LGBTQ（性的少数者）と法②	Sexual Minorities and Law II
15. 理解の確認（小テストと解説）：労働法・情報法・時事問題	Quiz

履修の条件・注意事項

授業中、分からない言葉があれば辞書（電子辞書を含む）で調べてもよい。また、必要に応じて英語で補足説明を行う。If necessary, students may use dictionaries, including electronic devices, during class. This course is conducted mainly in Japanese, but specifically important subjects will be explained also in English for the convenience of students from overseas.

成績評価基準・方法

平常点（授業内の発言、グループワーク等の参加）：40% 小テスト：60%

テキスト

担当教員が作成したスライドおよびプリントを使用する。

※変更があった場合は、別途指示する。

にほんじじょう にほんれきし たんとうしや いたう のりこ  
日本事情Ⅲ（日本の歴史） 担当者：伊藤 典子

こうぎもくてき こうぎないよう  
講義目的・講義内容

にほんれきし についてまなぶことで、にほんじん のものかんがえかた いきかた りかい とともにじぶんくに  
れきし についてより深く見つめる機会とする。

どうたつもくひょう  
到達目標

にほんれきし のおおまかなながりかい を理解するとともに、きそてき ちしき しゅうとく を修得する。  
じぶんくに すがた げんだいにほん すがた きょうつうてん そういてん かんが じぶんしや ひろ  
自分の国の姿と現代日本の姿との共通点や相違点について考え、自分の視野を広げる。

じゅぎょうけいかく  
授業計画

1. オリエンテーション（授業の進め方・評価方法）、石器から土器へ
2. 古墳時代と大和政権
3. 奈良・平安時代と貴族のくらし
4. 武士政権の登場
5. 戦国大名とヨーロッパ人の来航
6. 江戸時代の政治と経済
7. <中間のまとめ>
8. 江戸時代の社会と文化
9. 日本の開国と明治維新の時代
10. 大日本帝国憲法と軍国主義
11. 二つの世界大戦
12. 現代日本の出発
13. 日本の世界遺産
14. 日本の歴史や文化をあなたの国と比較する。
15. <全体のまとめ>

りしゅう じょうけん ちゅうい じこう  
履修の条件・注意事項

けっせき ちこく ていしゅつぶつ かなら だ  
欠席・遅刻をしない。提出物を必ず出す。

せいせきひょうか きじゆん ほうほう  
成績評価基準・方法

ていぎしけん まいかい など ていしゅつぶつ じゅぎょう とりくみじょうきょう  
定期試験 50% 毎回のプリント等の提出物 30% 授業の取組状況 20%

テキスト

はいふ  
配付プリントによる ※毎時間のプリントをファイリングすること。

へんこう ばあい べつとしじ  
※変更があった場合は、別途指示する。

日本事情Ⅳ（日本の社会） 担当者：長尾 三千代

講義目的・講義内容

日本の社会や日本人の特徴を理解することで、自分の国の姿についてより深く見つめる機会とする。

到達目標

日本の社会全般に関する基本的な知識を修得する。  
自分の国と日本との共通点や相違点について考え、自分の視野を広げる。

授業計画

1. オリエンテーション（授業の進め方・評価方法）、日本の姿
2. 日本と岐阜県の位置・地形
3. 日本の気候と自然災害
4. 日本の資源・エネルギー問題と環境問題
5. 日本の人口と少子高齢化をめぐる問題
6. 日本の情報化をめぐる問題
7. 日本国憲法について
8. 中間試験
9. 日本の新聞を読んで考える①【情報リテラシーについて】
10. 日本の新聞を読んで考える②【核兵器について】
11. 日本の新聞を読んで考える③【政治の仕組み】
12. 日本の経済の仕組み
13. 日本の年中行事
14. 日本の社会・家族・若者
15. 学期末試験

履修の条件・注意事項

欠席・遅刻をしない。提出物を必ず出す。

成績評価基準・方法

定期試験 50% 毎回のプリント等の提出物 40% 授業の取組状況 10%

テキスト

配布プリントによる ※毎時間のプリントをファイリングすること。

※変更があった場合は、別途指示する。

日本事情 V (異文化理解) 担当者：梶原 綾乃

### 講義目的・講義内容

この講義での「異文化」とは、国籍だけではなく、地域、性別、環境等によって育まれた思考様式を指し、「理解」とは「知る」ことではなく、「知ろうとする」態度、つまり思い込みや偏見をなくして聴く態度を「理解」と呼ぶ。日本文化だけではなく、留学生同士のお互いの国、立場を「聴く」ことで理解していくことを目指す授業である。普段、疑問に思っていることを多くの人に質問をして、その結果を集計分析し、自分なりにわかったことをまとめる授業を行う。

### 到達目標

考え方や視点の相違を認め、相手の意見を質問、傾聴することで、自分の視野を広げ、多角的に物事を見ることを目的とする。

### 授業計画

1. 異文化適応とは
2. 大学探検
3. 私が持つイメージ、あなたが持つイメージ
4. 日本人が持つ自分の国のイメージ
5. 日本人に声をかけてみよう① (ロールプレイ練習)
6. 日本人に声をかけてみよう② 実践練習
7. 日本人に声をかけてみよう③ 実践練習
8. 日本人に声をかけてみよう④ 実践練習
9. 集計、分析、まとめ
10. 報告発表
11. 自分が聞きたいことを考えて準備する
12. 日本人に質問しよう①
13. 日本人に質問しよう②
14. 集計、分析、まとめ
15. 報告発表

### 履修の条件・注意事項

母国の代表として、留学生としてのマナーを心掛けてください。  
遠隔授業の場合、内容を若干変更します。

### 成績評価基準・方法

定期レポートと発表 70% 毎回のプリント提出 20% 授業態度 10%

### テキスト

特になし。配布したプリントを保管しておいてください。

※変更があった場合は、別途指示する。

基礎教育科目

数学 担当者：佐納 康治

講義目的・講義内容

日本留学試験の受験対策として、文科系の数学の講義及び演習を行う。  
 具体的な講義内容は、式と計算、集合、方程式、不等式、式と証明、2次関数、三角関数、平面解析幾何、指数関数、対数関数、数列、順列・組合せ、確率、微分法、積分法である。  
 数学用語の日本語での表現、日本語で書かれた問題文の読解にも留意しながら授業を進める。  
 なお、希望があれば理科系の数学についても講義する。

到達目標

日本留学試験の数学（文科系）が解けるようになることを目標とする。

授業計画

1. 数学の記号の読み方
2. 整式、約数・倍数と分数式、実数
3. 集合、2次方程式、いろいろな方程式、2次関数
4. 不等式、方程式・不等式の総合問題、式と証明
5. 三角比、三角比の図形への応用
6. 点と直線、円
7. 指数関数、対数関数
8. 等差数列、等比数列
9. 場合の数、順列、組合せ
10. 確率
11. 微分係数と導関数
12. 微分法の応用
13. 不定積分と定積分
14. 積分法の応用
15. 総復習

履修の条件・注意事項

本国で sin、cos、log 程度の数学は履修済みであること。

成績評価基準・方法

定期試験 50%、授業中発表 50%（出席点を含む）

テキスト

毎時間プリント配付

※変更があった場合は、別途指示する。

世界史 担当者：前谷 和則

講義目的・講義内容

この科目の目標は、現代世界の形成の歴史的過程について、近現代史を中心に理解し、世界諸国相互の関連を多角的に考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に生きる自覚と資質を養うことにあります。

到達目標

世界近現代史に関する基礎的知識を習得すること。

授業計画

1. ガイダンス
2. 世界の一体化に向かうヨーロッパとイスラム
3. 近代ヨーロッパの世界支配と日本の開国
4. 革命の時代のヨーロッパ・アメリカ
5. 欧米の発展とアジア侵略
6. 日清・日露戦争と東アジア
7. 二度の世界大戦と日本
8. 第一次世界大戦とアジア
9. 世界恐慌と日本の中国侵略
10. 第二次世界大戦
11. 現代の日本と世界
12. 占領と日本の民主化
13. 二つの世界とアジア
14. 緊張緩和に向かう世界と日本
15. 地球社会の時代と日本

履修の条件・注意事項

N3レベルの日本語能力が望ましい。

成績評価基準・方法

中間試験 50% + 期末試験 50%

テキスト

『新編新しい社会・歴史』（東京書籍）プリント

※変更があった場合は、別途指示する。

とくべつえんしゅう か もく  
特別演習科目

とくべつえんしゅう たんとうしゃ あらい かつゆき  
特別演習 A 担当者：新井 克之

こうぎもくてき こうぎないよう  
講義目的・講義内容

にほんごのうりよくしけん にほんごりよく み およ にほんごのうりよくしけん じゆけんたいさく  
日本語能力試験 N3 レベルの日本語力を身につけること、及び日本語能力試験の受験対策のため  
の日本語の講義及び演習を行う。

くたいてき こうぎないよう にほんごのうりよくしけん げんごちしき もじ ごい げんごちしき ぶんぼう  
具体的な講義内容は、日本語能力試験 N3 レベルの言語知識（文字・語彙）、言語知識（文法）・  
読解、聴解である。予習で勉強してきた内容について授業の中でテストし、その解答解説を行う。

とうたつもくひよう  
到達目標

にほんごのうりよくしけん にほんごりよく み もくひよう  
日本語能力試験 N3 レベルの日本語力を身につけることを目標とする。

じゆぎようけいかく  
授業計画

1. オリエンテーション

にほんごのうりよくしけん げんごちしき もじ ごい  
2. 日本語能力試験 N3 レベルの言語知識（文字・語彙）

にほんごのうりよくしけん げんごちしき ぶんぼう  
3. 日本語能力試験 N3 レベルの言語知識（文法）

にほんごのうりよくしけん だくかい  
4. 日本語能力試験 N3 レベルの読解

にほんごのうりよくしけん ちようかい  
5. 日本語能力試験 N3 レベルの聴解

にほんごのうりよくしけん げんごちしき もじ ごい  
6. 日本語能力試験 N3 レベルの言語知識（文字・語彙）

にほんごのうりよくしけん げんごちしき ぶんぼう  
7. 日本語能力試験 N3 レベルの言語知識（文法）

じっせんもんだいえんしゅう  
8. 実践問題演習

にほんごのうりよくしけん だくかい  
9. 日本語能力試験 N3 レベルの読解

にほんごのうりよくしけん ちようかい  
10. 日本語能力試験 N3 レベルの聴解

にほんごのうりよくしけん げんごちしき もじ ごい  
11. 日本語能力試験 N3 レベルの言語知識（文字・語彙）

にほんごのうりよくしけん げんごちしき ぶんぼう  
12. 日本語能力試験 N3 レベルの言語知識（文法）

にほんごのうりよくしけん だくかい  
13. 日本語能力試験 N3 レベルの読解

にほんごのうりよくしけん ちようかい  
14. 日本語能力試験 N3 レベルの聴解

じっせんもんだいえんしゅう  
15. 実践問題演習

りしゅう じようけん ちゆうい じこう  
履修の条件・注意事項

にほんごのうりよくしけん ぐうかく にほんごりよく み  
日本語能力試験 N4 合格レベルの日本語力を身につけていること。

まいかいじゆぎよう まえ よしゅう ひつよう  
※毎回授業の前に予習することが必要である。

せいせきひよう か きじゆん ほうほう  
成績評価基準・方法

ていき しけん じゆぎようないしよう  
定期試験 40%、授業内小テスト 40%、クラスパフォーマンス 20%

テキスト

だい かいめ じゆぎよう しじ まいじかん はいふ  
第1回目の授業で指示する。毎時間プリント配付

※変更があった場合は、別途指示する。

とくべつえんしゅう たんとくしや あらい かつゆき  
特別演習 B 担当者：新井 克之

こうぎ もくてき こうぎ ないよう  
講義目的・講義内容

にほんごのうりよくしけん にほんごりよく み およ にほんごのうりよくしけん じゅけんたいまく  
日本語能力試験 N 3 レベルの日本語力を身につけること、及び日本語能力試験の受験対策のため  
の日本語の講義及び演習を行う。

くたいてき こうぎ ないよう にほんごのうりよくしけん げんごちしき もじ ごい げんごちしき ぶんぼう  
具体的な講義内容は、日本語能力試験 N 3 レベルの言語知識 (文字・語彙)、言語知識 (文法)・  
どっかい ちょうかい しょうかい よしゅう べんきよう ないよう じゅぎょう なか かいどうかいせつ おこな  
読解、聴解である。予習で勉強してきた内容について授業の中でテストし、その解答解説を行う。

どうたつもくひょう  
到達目標

にほんごのうりよくしけん にほんごりよく み もくひょう  
日本語能力試験 N 3 レベルの日本語力を身につけることを目標とする。

じゅぎょうけいかく  
授業計画

1. オリエンテーション
2. にほんごのうりよくしけん げんごちしき もじ ごい  
日本語能力試験 N 3 レベルの言語知識 (文字・語彙)
3. にほんごのうりよくしけん げんごちしき ぶんぼう  
日本語能力試験 N 3 レベルの言語知識 (文法)
4. にほんごのうりよくしけん だっかい  
日本語能力試験 N 3 レベルの読解
5. にほんごのうりよくしけん ちょうかい  
日本語能力試験 N 3 レベルの聴解
6. にほんごのうりよくしけん げんごちしき もじ ごい  
日本語能力試験 N 3 レベルの言語知識 (文字・語彙)
7. にほんごのうりよくしけん げんごちしき ぶんぼう  
日本語能力試験 N 3 レベルの言語知識 (文法)
8. じっせんもんだいえんしゅう  
実践問題演習
9. にほんごのうりよくしけん だっかい  
日本語能力試験 N 3 レベルの読解
10. にほんごのうりよくしけん ちょうかい  
日本語能力試験 N 3 レベルの聴解
11. にほんごのうりよくしけん げんごちしき もじ ごい  
日本語能力試験 N 3 レベルの言語知識 (文字・語彙)
12. にほんごのうりよくしけん げんごちしき ぶんぼう  
日本語能力試験 N 3 レベルの言語知識 (文法)
13. にほんごのうりよくしけん だっかい  
日本語能力試験 N 3 レベルの読解
14. にほんごのうりよくしけん ちょうかい  
日本語能力試験 N 3 レベルの聴解
15. じっせんもんだいえんしゅう  
実践問題演習

りしゅう じょうけん ちゅうい じこう  
履修の条件・注意事項

にほんごのうりよくしけん ごうかく にほんごりよく み  
日本語能力試験 N 4 合格レベルの日本語力を身につけていること。

※まいかいじゅぎょう まえ よしゅう ひつよう  
※毎回授業の前に予習することが必要である。

せいせきひょうか きじゅん ほうほう  
成績評価基準・方法

ていき しけん じゅぎょうないしゅう  
定期試験 40%、授業内小テスト 40%、クラスパフォーマンス 20%

テキスト

だい かいめ じゅぎょう しじ まいじかん はいふ  
第 1 回目の授業で指示する。毎時間プリント配付

へんこう が あった 場合は、 別途 指示 する。

とくべつえんしゅう たんとうしや ながお みちよ  
特別演習 C 担当者：長尾 三千代

こうぎもくてき こうぎないよう  
講義目的・講義内容

どっかいりよく たか ぶんぼうこうもく せいり じっさい ぶんれい そく がくしゅう おこな  
読解力を高めるために文法項目を整理しながら、実際の文例に即した学習を行う。  
ぶん こうせい かくようそ かんけい ずかい りかい がんが ぶん な た がくしゅう  
文を構成する各要素の関係を図解によって理解ができるように考え、文の成り立ちを学習する。  
じゅうよう ぶんぼうこうもく ちやくじつ み ぶん なが ぶんぼうこうもく ふくざつ こくふく つと  
重要な文法項目を着実に身につけて、文の長さや文法項目の複雑さを克服していけるように努める。  
ぶん こうぞう しゅうしよくかんけい ただ りかい しゅうりやく おぎな  
文の構造や修飾関係を正しく理解し、省略されているものを補うことができる。

とうたつもくひよう  
到達目標

にほんごのうりよくしけん にほんご どっかいりよく み もくひよう  
日本語能力試験 N2レベルの日本語の読解力を身につけることを目標とする。

じゅぎょうけいかく  
授業計画

1. 授業の説明、日本語能力試験 N2 全体構成の説明、日本語能力試験 N2 読解・文法①
2. 日本語能力試験 N2 読解・文法②
3. 日本語能力試験 N2 読解・文法③
4. 日本語能力試験 N2 読解・文法④
5. 日本語能力試験 N2 読解・文法⑤
6. 日本語能力試験 N2 文字語彙・聴解①
7. 復習回
8. 中間試験
9. 日本語能力試験 N2 読解・文法⑥
10. 日本語能力試験 N2 読解・文法⑦
11. 日本語能力試験 N2 読解・文法⑧
12. 日本語能力試験 N2 読解・文法⑨
13. 日本語能力試験 N2 文字語彙・聴解②
14. 復習回
15. 学期末試験

りしゅう じょうけん ちゅうい じこう  
履修の条件・注意事項

にほんごのうりよくしけん にほんごりよく み のぞ  
日本語能力試験 N3レベルの日本語力を身につけていることが望ましい。  
Vocabulary の欄の言葉は授業の前に覚えておくこと

せいせきひょうか きじゆん ほうほう  
成績評価基準・方法

ていぎしけんおよ くだい じゅぎょうたいど しゅっせきてん しゅくだいていしゅつ ふく  
定期試験及び課題 50%、授業態度 50% (出席点や宿題提出を含む)

テキスト

しゅつばん にほんご ぶんぼう どっかい  
Jリサーチ出版「日本語 N2 文法・読解まるごとマスター」

へんこう があつたばあい は、べつとしじ  
※変更があった場合は、別途指示する。

とくべつえんしゅう たんとうしや いたう のりこ  
特別演習 D 担当者：伊藤 典子

こうぎ もくてき こうぎ ないよう  
講義目的・講義内容

にほんごのうりよくしけん N2、N1レベルの日本語力を身につけること、および日本語能力試験の受験対策のための日本語の講義及び演習を行う。

くたいき こうぎ ないよう おも にほんごのうりよくしけん N2、N1レベルの読解、聴解の問題を解き、解答解説を行う。言語知識（文字・語彙、文法）に関しては、指定の教材を宿題とし毎回の授業で小テストを行う。

なお、理解度チェックテストの結果から学生のレベルを考慮し、スケジュールを変更する場合もある。

とうたつもくひょう  
到達目標

にほんごのうりよくしけん N2、N1レベルの日本語力を身につけることを目標とする。

じゅぎょうけいかく  
授業計画

1. 授業の説明、理解度チェックテスト
2. 日本語能力試験 N2、N1レベルの言語知識（文字語彙・文法）
3. 日本語能力試験 N2、N1レベルの読解①
4. 日本語能力試験 N2、N1レベルの聴解①
5. 日本語能力試験 N2、N1レベルの読解②
6. 日本語能力試験 N2、N1レベルの読解③
7. 日本語能力試験 N2、N1レベルの聴解②
8. 実践問題演習（中間テスト）
9. 中間テスト解答解説・日本語能力試験 N2、N1レベルの聴解③
10. 日本語能力試験 N2、N1レベルの読解④
11. 日本語能力試験 N2、N1レベルの読解⑤
12. 日本語能力試験 N2、N1レベルの聴解④
13. 日本語能力試験 N2、N1レベルの読解⑥
14. 日本語能力試験 N2、N1レベルの聴解⑤
15. 実践問題演習（期末テスト）

りしゅう じょうけん ちゅうい じこう  
履修の条件・注意事項

にほんごのうりよくしけん N3レベルの日本語力を身につけていることが望ましい。

せいせきひょうか きじゆん ほうほう  
成績評価基準・方法

ていき しけんおよ しょう じゅぎょうたいど しゅっせきてん しゅくだいでいしゅつ ふく  
定期試験及び小テスト 50%、授業態度 50%（出席点や宿題提出を含む）

テキスト

じゅぎょうけいし まえ しじ まいじかん はいふ  
授業開始前に指示する。毎時間プリント配付

※変更があった場合は、別途指示する。

